

アカデミックフェス 事後レポート

企画名： 法学部水田ゼミ presents: 「SDGs だよ！全員集合」

企画名（英語）： It is SDGs! Let' s Get Together Everybody

時 間： 13：00～14：30

会 場： アカデミーコモン ROOM-E（A1 会議室）

登壇者： 水田ゼミ所属学生

開催概要：

以下の2つの内容の発表を行った。

- ①映画を使って国際法を考える：ハリウッドの大作や Netflix の人気オリジナル作品を題材にして来場者に国際法に親しんでもらった。
- ②就活生と企業と国連 SDGs の関係：企業に直接インタビューをするなどして今後の SDGs 社会に向けての企業の動きを徹底取材し、就活との関連性を洗いだし発表した。

開催概要（英語）：

We gave the following presentations:

- ① Studying international law through movies

2 films, “Terminal”, a Hollywood blockbuster film directed by Steven Spielberg, and “Operation Finale” Netflix’ s original film on Adolf Eichmann, were analyzed from the viewpoint of international law in order for the audience to be acquainted with the use of the law in real world contexts.

- ② Corporations and SDGs

The presentation described how the Social Development Goals (SDGs) does, and will, impact on current and future corporate activities in Japan, with data collected from various sources including the interviews conducted by the members of our seminar. The presentation emphasized on the usefulness of SDGS for job hunting students as a yardstick to evaluate the future of a company.

開催内容：

- (1) あの映画も国際法を使って考えてみよう

「触れる機会の少ない、「国際法」は私たちの住む世界が抱える問題や紛争を解決する手段となる非常に大切なものなのです。今回は身近なハリウッド映画を「国際法的な視点」からツッコミやディスカッションを行い、皆さんを「国際法」に親しんでもらいます。」として、今回は国際法に関わりのある2つの映画（『ターミナル』、『オペレーショ

ン・フィナーレ』)の分析を行い、現実の世界で国際法がどのように適用されるのかについて、未修者でもわかるように噛み砕いて説明を行った。

(2)「私たち」の将来を考えようー就活生と企業と国連 SDGs の関係

「環境問題や少子化が問題となっている昨今、今儲かっている企業がずっと成長できるとは限りません。国連で問題となっているようなことが実は就活にも関わっているのです。今回は国際法を学ぶ学生として、企業が実施している SDGs に向けた様々な取り組みについて分析・検討し、認知度の向上をはかります。また、企業を訪問して実際の現場の取り組みや認識をレポートします。一般的な就活情報だけでは不安だという方に新しい視点を提供できればと考えています。また、学生の意識が向上することで企業側にとっても新しい一歩を踏み出すきっかけになることを期待しています。(具体的には学生に向けた情報公開の強化等)」として、企業のサステナビリティ報告書及び企業に対するアンケート・インタビューを元に、SDGs と企業活動との関連性を分析、SDGs が就活生にとって企業の将来性を評価する上で有益な情報になりうることを示した。

会場では、来場者に対してポスター説明、質疑応答も実施した。来場者アンケートでは全般的に好意的な評価を得ることができた。

以 上